

## 大展望の北ア 孤高の山へ

## 燕岳～餓鬼岳

実施日 2018年9月7日(金)～9日(日)

天候 晴れ

リーダー 峯川 弘子

参加者 宇野輝代・中村智子・峯川弘子  
計 3 名

費用 JR8,218円(J倶楽部・八王子起算)

🚗4,200円／宿泊19,800円

合計 3 2, 2 1 8 円

タイム 9/6 穂高駅(10:20)燕岳登山  
口(11:15)合戦小屋(15:4  
0)燕山荘(16:00) 泊9/7 燕山荘(6:00)燕岳(6:35)  
北燕岳(7:12)東沢乗越  
(8:52)剣ズリ(13:20)餓  
鬼岳小屋(14:55) 泊9/8 餓鬼岳小屋(5:30)大風山  
(6:40)白沢登山口(12:00)9/6 JRあずさで合流し、穂高駅か  
ら少しでも早く行く為に🚗で中房温  
泉の登山口へ。

今日は燕山荘まで、カフェでは早い下山者がビールで乾杯している、それを横目に合戦尾根の急登を想像しただけでめげそうな気持ちを振るい立たせスタート。暑い、天気良過ぎ！、

小1時間で第一ベンチ、約40分第二ベンチ、立休憩で水分補給しながら14:30合戦小屋到着。

名物スイカを食べながら大休止していると少し寒くなってき

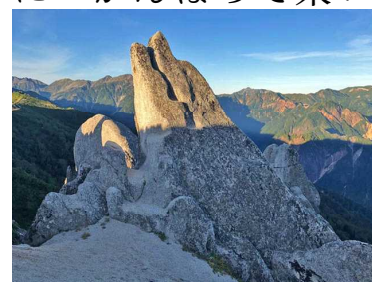


たので早々に出発する、もう9月だもんね～。合戦小屋からは傾斜が少し緩やかになったが息をきらして16:00燕山荘到着！平日というのに巨大な宿泊施設はめっちゃ込みだ。増築した新館奥の大広間のような和室で、こぶし会は幸いにも5人のカーテン仕切りのブースに3人でゆったり。しかし巨大過ぎて食堂や乾燥室、トイレへ行くにも遠くて面倒だ。



9/7 5:20燕山荘から日の出を拝む、目の前のピンク色に染まる燕岳が美しい！

快適な朝食の後、圧倒的に大天井～常念へ向かう人達が多い中こぶし会はいざ餓鬼岳へ。雲ひとつない青空の中、槍穂がその雄姿を見せてくれる。右手前方にはなんと雲海の上に富士山がくっきり、これから行く厳しい道



に「がんばって来いよー」と応援してくれている！？滑りやすい花崗岩の傾斜をゼーゼー登っていくとそれは突然現

れた、TVで見たイルカちゃん、会いたかったよ～！さらに眼鏡岩を通過し岩々の傾斜を登り切って燕岳、山頂は狭いが遮るものがなく360°



絶景！！早出した燕岳ピストンの数グループで賑わっている。写真を撮ってもらった若いご夫婦は



は餓鬼岳へは行かないけれど東沢から中房新道へ下山とのこと、行く人が少ない中、方向が途中まで一緒というだけでなんだか心強い。長居はできないので下山開始、山頂から下山道を覗くと直下は少しキレットのような岩を降りていくようだ。尻込みするご夫婦より先に慎重に下山開始、だけど餓



鬼岳まではもっと厳しいのだ、これはまだ序の口、草木を持って滑りながら下の登山道に合流、あれっ？右方向から歩きやすい道があった。上を見上げると山頂からご夫婦が心配そうに私達を見ている。すみませーん、山頂後方から歩きやすい道があったみたいです～、

と大声で教えてあげた(笑)



そして北燕岳山頂、燕岳よりとがっていて、より厳しくひっそりとして

登山者はまだ誰もいない。

山頂から下山も滑りそうなザレ場の急下降、気が抜けない、と、目の前に何やら動く物体がっ、雷鳥の親子だ！晴天だけどまだ朝早いので餌を探しにきたのかな？

ほほえましい姿をそーっと写メにおさめ今日はついてるかもー、と話しながら進む。野口五郎、烏帽子岳を左に

下には青い七倉ダム湖、雄大な裏銀座の景色を見ながら東沢乗越への分岐に到着。

ここから東沢まで標高差約470mの激下り、笹がはびこる道を掻き分け滑らないよう慎重に下る。8:52中房新道の分岐によりやく到着し大休止をとる。



そこから東沢岳へはきつい傾斜の登り返し、息を切らし丸山新道に登り上げた。



青空の中燕山荘が反対側の稜線遠くに見えた。これは縦走ではなくて燕岳から一旦下山して別の山に登って来たのと同じ？

疲れるわけだよー！稜線の北アルプスの山並みを楽しみ進むと岩稜の山塊があらわれた。いよいよ剣ズリ到着、見上げるとかなりの絶壁、ここを登るのか、久しぶりにスイッチが入った！カニの横バイよろしく進むがあれ？縦バイない？2~3か所直登のハシゴはあるがとがったところは巻いて通過せずに行けるようだ、あー良かった(笑)

アップダウンを繰り返して稜線上に餓鬼岳小屋の赤い屋根が見えた、もうすぐだー！ 出発して9時間、15:00餓鬼岳小屋到着、小屋番さんからおめでとう、本日のオオトリだよ、後から来る人いなかったよね？と言われ、すみません、遅くなって(笑)

荷物をデポして空身で餓





鬼岳15:20到着、  
山頂わっしょーい！！  
針ノ木から蓮華の山塊が一望、  
青空で迎えてくれてありがとう！！  
目の前には唐沢岳、往復は地図

以上で6時間はかかるという。

もう一泊しないと無理、でも私達はここで十分だね！と3人で達成感を喜び合った。しばし景色にみとれて小屋にもどる。餓鬼岳小屋は水がなく、洗面の為に天水を塩素消毒した水（500ml100円）を空のペットボトルに入れてもらう。食事はレトルトのおでんや魚やら意外にも夜朝とも豪華で特に炊き込みごはんとうほうじ茶がめちゃおいしかった。

男女雑魚寝でもザックは枕元、宿泊客は少ないので荷物は広げ放題、朝4:30に電気がつき布団を畳んですぐにお膳を並べてその場で食事、動線が良く燕山荘より快適。

9/8 小屋番さんに下山は昭文社の地図よりかかる、6時間はみてと教えられた、いやな予感。



朝日とともに出発、急な下り、笹が生い茂り根っこむき出しの細い道、めちゃ歩きにくい道の連続で、気が抜けず緊張で立休憩が多くなる。下山は地



図上で4:10分、朝6時に出発して車を11:00に予約していたが着けそうもない。下山でも汗をかきながらようやく到着した水場の沢から電波が通じ、電話をかけ12:00に変更してもらった。



沢の水で喉を潤しさらに下る。あと1時間半ほどで登山口、だんだん歩きやすい道になってきた。



12:00ジャスト、登山口に到着。お疲れ様でしたー！！この下山道がこの3日間で一番歩きにくく、しかも時間のかかる道だった。今回、小屋で話しを伺った他グループのガイドさんによると白石沢への下山は地図上の時間よりかかることで仲間内でも有名だとか、登山道を整備するにも他のアルプスよりお金が集まらないこと、燕山荘でも燕～餓鬼岳～白石沢への縦走路は一般登山道にしないしてほしいと言っているそうです。

唐沢岳を登る為に餓鬼岳小屋に2泊しているグループ、餓鬼から常念～槍まで行くという名古屋から来た単独のおやじさん、小人数ならではの山小屋での出会いは面白い。北アルプスの喧騒からはかけ離れた北ア孤高の縦走路、今回は天気も味方してくれ堪能することができました、ありがとうございました。

(記&写真・峯川 弘子)

(写真提供・中村 友子)